

科目名		病院前医療概論			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間	(2単位)	配当学年・時期	救急救命士科1年	前期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
救急医療、災害医療、病院前医療体制について理解できる 消防機関における救急活動の流れ、救急救命士に関連する法令について理解できる 現場活動における感染対策、安全管理、リスクマネジメントについて理解できる									
〔授業全体の内容の概要〕									
テキストに準じた講義や実習を交えて習得する									
〔講師の実務経験〕									
徳島県鳴門市消防本部にて救急救命士として17年間勤務									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
病院前医療体制（救命の連鎖・BLS・MC・プロトコル）について説明できる 救急救命士に関する救急医療体制、災害医療体制について説明、理解できる 救急現場における感染対策やリスクマネジメントに理解できる									
回数	講義内容								
1	救急医療体制（初期～第3次救急医療機関）								
2	救急医療システム								
3	救急医療情報（救急医療情報センター・精神科救急）								
4	救急救命士の役割と責任								
5	救急救命士と傷病者の関係（コミュニケーション）								
6	救急救命士の養成と生涯教育								
7	〃（病院実習）								
8									
9	消防機関における救急活動の流れ（119番受信～通信体制）								
10	消防機関における救急活動の流れ（救急活動記録、他機関との連携）								
11	安全管理と事故対応								
12	感染対策								
13	ストレスに対するマネジメント								
14	災害医療体制（災害とは～多数傷病者対応、トリアージ）								
15	災害医療体制（大規模災害、特殊災害）								
	定期筆記試験								

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
救急救命士標準テキスト上巻		へるす出版

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

終講時試験。履修規定に準じる。
